

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)

【公開番号】特開 2003-15161 (P2003-15161A)

【公開日】平成 15 年 1 月 15 日 (2003.1.15)

【出願番号】特願 2002-136681 (P2002-136681)

【国際特許分類】

**G 0 2 F 1/139 (2006.01)**

**G 0 2 F 1/133 (2006.01)**

**G 0 2 F 1/1335 (2006.01)**

**G 0 2 F 1/13357 (2006.01)**

**G 0 2 F 1/1337 (2006.01)**

**G 0 9 G 3/36 (2006.01)**

【F I】

G 0 2 F 1/139

G 0 2 F 1/133 5 0 5

G 0 2 F 1/133 5 8 0

G 0 2 F 1/1335 5 0 5

G 0 2 F 1/13357

G 0 2 F 1/1337

G 0 9 G 3/36

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】液晶パネル内に封止された液晶に電圧を印加する電圧印加手段を有し、該電圧印加手段による矩形波からなる印加電圧を変化させて表示を行う液晶表示装置であって、

前記表示を行う液晶の配向状態を表示配向状態と、前記表示配向状態と異なる非表示配向状態が存在し、前記表示配向状態から非表示配向状態に前記液晶を転移させた後に前記表示を行い、

前記電圧印加手段による印加電圧を、前記表示配向状態を維持するために必要な所定電圧以上とする電圧制限手段と、前記矩形波に微分波を乗せる尖鋭化回路とを有し、

前記矩形波に微分波を乗せた前記印加電圧が、前記表示配向状態から前記非表示配向状態へ前記液晶が転移する際の転移電圧を下回った場合には、前記電圧制限手段の所定電圧を転移電圧に設定して前記液晶に転移電圧を印加する、液晶表示装置。

【請求項 2】前記液晶の複屈折量を変化させて表示を行う、請求項 1 記載の液晶表示装置。

【請求項 3】前記液晶パネルは一对の基板を有し、該一对の基板に接する液晶のプレチルト方向が、前記基板間の中心面に対して面对称な位置関係になるように、略平行配向した構成である、請求項 1 記載の液晶表示装置。

【請求項 4】前記表示配向状態がベンド配向状態であり、前記非表示配向状態がスプレイ配向状態である、請求項 1 に記載の液晶表示装置。

【請求項 5】液晶パネル内に封止された液晶に電圧を印加する電圧印加手段を有し、該

電圧印加手段による印加電圧を変化させて表示を行う液晶表示装置であって、

前記表示を行う液晶の配向状態を表示配向状態と、前記表示配向状態と異なる非表示配向状態が存在し、前記表示配向状態から非表示配向状態に前記液晶を転移させた後に前記表示を行い、

前記電圧印加手段による印加電圧を、前記表示配向状態を維持するために必要な所定電圧以上とする電圧制限手段と、前記表示配向状態から前記非表示配向状態へ前記液晶が転移する際の転移電圧と温度との間の温度特性データを記憶する記憶装置と、前記液晶表示装置の外部温度を検出することができる温度検出手段とを有し、

前記外部温度と前記温度特性データとを照合することにより、前記印加電圧が転移電圧を下回らないようにする、液晶表示装置。